

海田町
まち・ひと・しごと創生
総合戦略

－ 概要版 －

平成27年9月



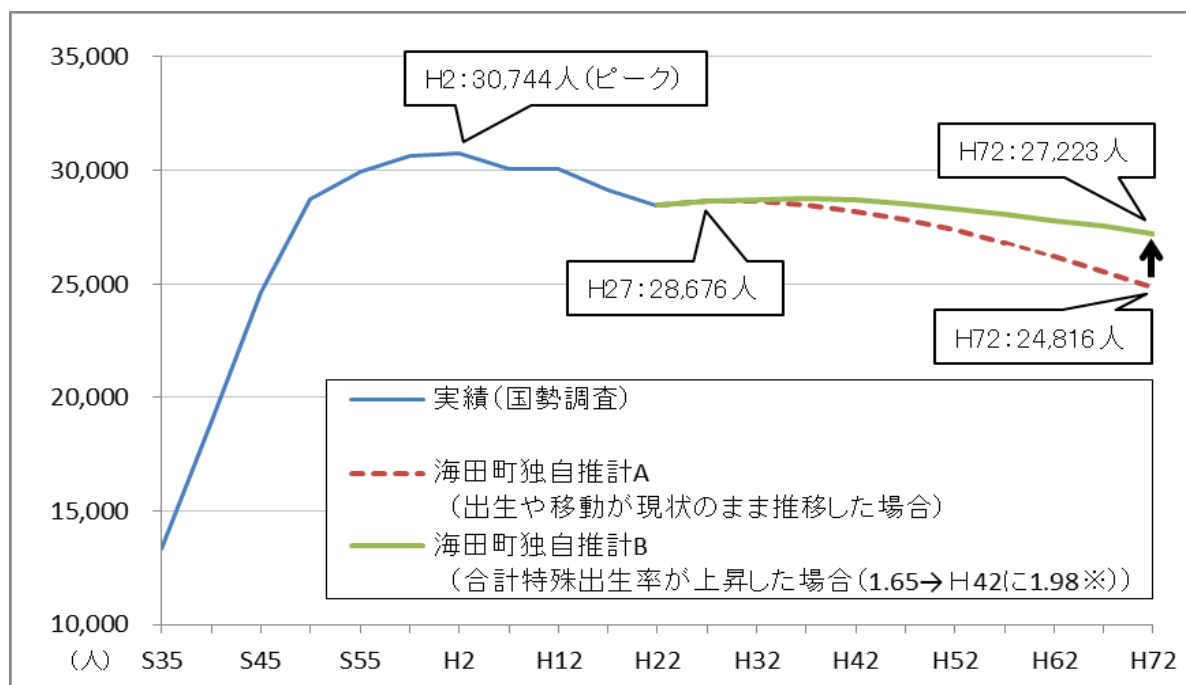
海 田 町

海田町人口ビジョン

対象期間

国の人口ビジョンと同様の平成72（2060）年まで

海田町の人口の推移と長期的な見通し



※「海田町の将来人口に関するアンケート調査」を参考に設定

海田町の将来人口に関するアンケート調査

- 20～39 歳住民の子どもの予定人数は 1.98 人，理想人数は 2.21 人
- 海田町の「住みやすさ」に対するプラス評価は約9割
- 海田町の「働く場」としてのプラス評価は約5割，「町外へ通勤する場」としてのプラス評価は約7割
- 住みやすい点や魅力，“強み”として，「交通の便がよい」「買い物などが便利」「自然環境がよい」

海田町の目指すべき将来の方向

- ① 住民が希望に沿った結婚・出産・子育てをしている
- ② 海田町が「住みたいまち」として町内外から認識されている
- ③ 住民の活動が町域を越えて広く行われている



人口の将来展望

独自推計 A

〔出生〕合計特殊出生率が、現状の 1.65 で推移

〔移動〕平成 22～27 年の純移動率が一定で推移

◆買い物などの日常生活や、雇用、地域経済面などにおいてさまざまな影響を及ぼすことが危惧される。



「海田町の目指すべき将来の方向」に沿って施策を展開

独自推計 B

〔出生〕合計特殊出生率が、現状の 1.65 から 1.98 まで上昇

〔移動〕平成 22 年～27 年の純移動率が一定で推移

◆施策の効果によって、人口の減少が抑えられる

海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略

策定にあたっての基本的視点

- 総合戦略の位置づけ（国及び県の総合戦略を勘案しつつ海田町の実情を踏まえ策定）
- 基礎自治体としての取組と広域連携での取組により相乗効果を生み出す
- 海田町を広くアピールする

計画期間

平成 27（2015）年度から平成 31（2019）年度までの 5 年間

政策分野と基本目標

政策分野 ① 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標

結婚・妊娠・出産・育児のしやすいまちづくりに向けた環境整備等の取組を推進することにより、出生数の増加をめざします。

◆出生数 316 人（平成 26 年度）→335 人（平成 31 年度）

主な取組

- 不妊・不育治療費の助成
- 母子に対する妊娠期からの支援及び産後早期ケア
- 子育て支援パスポート事業の充実
- 町立保育所の再整備に伴う保育サービス及び保育体制の充実
- 小中学校における指導力の向上
- 結婚に関するセミナー等の開催検討 など



政策分野 ② 健康で安全・安心ないきいきとした暮らしを守る

基本目標

住民に最も身近な基礎自治体として、住民の健康増進や心の豊かさの実感に向けた取組を推進することにより、健康寿命の増加をめざすとともに、安全・安心な生活の基礎となる防災、防犯への取組を充実強化します。

◆平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加（平成31年度）

主な取組

- 予防接種費用助成
- がん検診受診体制の整備
- 夜間防犯パトロール
- 災害発生時の避難場所、備蓄品の確保
- 防犯カメラの設置による町内の犯罪抑制
- 消防団活動の充実強化
- 高齢者の地域ケア体制の整備
- 高齢者などの居場所、活動場所づくり など



政策分野 ③ 海田町への新しい人の流れをつくる

基本目標

海田町への来訪や移住、定住に向けた情報発信や基盤整備、海田町の知名度向上に繋がる取組を推進することにより、人口の社会増の維持をめざします。

◆人口の社会増減 +199人（平成26年度）→毎年度+値を維持

主な取組

- 広報誌やFacebookを活用した地域資源のPR
- 住みやすさの視点から捉えた海田町の魅力の町内外へのアピール
- 織田幹雄さん出身の町としてのアピール など



政策分野 ④ 働きがいのある就労の場を確保する

基本目標

海田町に住みながら通勤できる範囲での就労の場の確保に向けた環境整備等の取組を推進するため、起業件数の増加をめざします。

◆創業支援事業計画に基づく年間起業家数 0人（平成26年度）→6人（平成31年度）

主な取組

- 広島安芸商工会と連携した町内商工業の活性化、経営の安定化
- 関係機関との連携による創業の支援
- 通勤アクセス利便性の向上
- 近隣市町と連携した就労の場の確保、商工業の振興 など

発行 海田町企画部企画課

広島県安芸郡海田町上市14番18号 TEL (082) 823-9212

<http://www.town.kaita.lg.jp/> FAX (082) 823-9203